



# 五中だより

府中市立府中第五中学校

校長 酒井 泰

平成 29年 7月 20日 No.4

## 聴くことについて

7月15日（土）の学年別保護者会において私から2つのこととお話しさせていただきました。1点目は「お子さんの話を聞いていただきたい」ということ、2点目は「褒めてあげてほしい」ということでした。学年により発達段階が異なるため、それぞれに工夫が必要なのですが、思春期で難しい年頃のお子さんとの会話の機会を多くすることの重要性をお話ししました。

これは、学校生活において教員にも当てはまることです。生徒たちとのコミュニケーションを円滑にし、十分な意思疎通を図ることが毎日の指導の基盤となります。

私は教員になって数年経ったある日に、中学生を指導する教員の基本的な心構えとして一つの言葉を教えてもらいました。それは「聴く」という言葉です。「聞く」ではなく「聴く」ということに意味があります。「聴く」という漢字を分解すると、「十四の心に耳を傾ける」ということとなります。14歳に代表される思春期の子供たちの心の内を十分に慮って、子供たちの話に耳を傾けて指導することこそが大切」との教えでした。なかなか、自分の思いを話してくれなくなるこの時期の生徒たちの考えや気持ちを理解するためには、やはり言葉に出して話さなければわかりません。大人の考えを一方向的に押し付けるのではなく、「なぜ、どうして」と、多少時間がかかっても話し合いながら指導を進めていくことが、重要であると考えます。

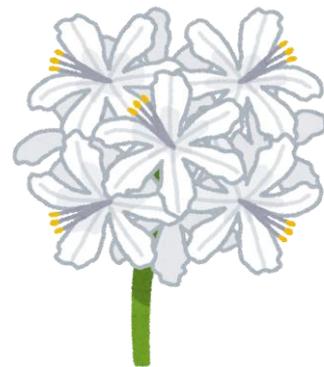
ご家庭でもお子さんとじっくり時間をかけて話し合ってもらえる機会を増やしていただければ幸いです。

## 明日から夏休みです

明日から39日間の夏季休業が始まります。生徒にとっては待ちに待った休みだと思えます。高い気温の日が続く時期ですので、健康維持に留意され有意義な夏休みにしていただきたいと思えます。

夏季休業中も三者面談や補習教室、夏季プール、部活動など様々な取組が予定されています。授業がなく、比較的時間的に余裕ができることと思えますが、くれぐれも生活のリズムだけは崩さないようにご協力をお願いいたします。各教科担当や学年から様々な課題が提示させていることと思えますが、それらを効率的にやり遂げるためにも規則正しい生活習慣の維持は重要な意味をもつと思えます。

また、ぜひ、課題をこなすだけでなく、何か一つ目標をもって取り組むことを期待しています。自分で決めたことなら何でもよいと思えます。39日間、やり通すことが重要だと思えます。39日間を時間に換算すると936時間です。私ぐらいに年齢になると936時間と聞くと、「わずか936時間しかないのか」と感じるのですが、中学生にとっては、「ずいぶんとたくさんある」と感じるかもしれません。別に焦らせるつもりはないのですが、「やりたいこと、やらなければならないことがたくさんある。わずか936時間しかない。」という気持ちで、時間を有効に使ってほしいと思っています。



## 防災スクールが開催されました

7月15日（土）に1年生が「防災スクール」を実施しました。本校では昨年度に続いて2回目の開催です。今回は、「起震車」「煙」「AED」「救急対処法」「消火」という様々な体験を3時間にわたって行いました。府中消防署栄町出張所の皆さんをはじめ、府中市の防災危機管理課の方にもご協力をいただきました。

災害が起こった時、一番大切なことは、自らの命を守ることです、次に他の人を助けること、そして地域の役に立つことです。これを防災教育では「自助・共助・公助」と呼んでいますが、中学生には、この「共助・公助」の役割を担うことが期待されています。毎年、府中五中では、1年生がこの「防災スクール」で自分の命を守るための取組のほか、他の人を助けるための取組について学ぶことで、万が一災害が発生したときに地域社会で役立つ人材になることを目指しています。とても暑い中、生徒たちは熱心に取り組んでいました。今回学んだ内容を忘れないでいてほしいと願っています。



## 悩みごとの相談について

生徒たちは学校生活を過ごす中で様々な悩みを抱え、それを解決しようと努力します。悩みを自分一人では抱えきれない場合、解決への方策を教員や保護者など大人の助言を求めることも多いことと思います。特にいじめなど、生徒にとって心も身体も傷つける大きな問題の場合は、速やかに対応することが重要です。もし、お子様が悩んでいる場合など、ちょっと様子がおかしいなと感じられた時には、ぜひ、学校に相談していただきたいと思います。夏季休業中には三者面談も行われます。これらの機会も有効に活用していただければ幸いです。なお、いじめをはじめ、学校生活における課題に関しては、学校に相談していただくことが第一ですが、状況によっては、話しにくい場合もあると思います。そのような時には、次の機関が様々な相談に応じていますので、ご紹介いたします。

- 東京都いじめ相談ホットライン  
0120-53-8288（24時間受付）
- 全国统一ダイヤル（24時間子供SOSダイヤル）  
0120-0-78310
- 警視庁ヤングテレホンコーナー  
03-3580-1700（平日8:30～20:00 土日祝8:30～17:00）
- 東京都児童相談センター電話相談室  
03-3366-4152（平日9:00～21:00 土日祝9:00～17:00）
- 東京都教育相談センター  
03-3360-8008（平日9:00～21:00 土日祝9:00～17:00）